



クマ・イノシシに注意！

送迎の際は駐車場の譲り合いを

一関東中新生徒会の船出に向けて 生徒会役員選挙・認証式任命式

新役員よろしく
お願いします！

10月14日（火）、R7後期～R8前期の一関東中生徒会役員選挙立会演説会と投票が行われ、新役員が決定しました。毎朝の玄関前での呼びかけや動画等による選挙活動を経ての決定です。10月21日（火）には認証式および任命式が行われました。

人は皆、その人だけの宝物を持って生まれてきます。その宝物はひとりひとり違うため、お互いの持つ宝物を共有して生かし、補い合う…そうやって世の中は成り立っています。小学校では児童会、中学高校では生徒会、高専・大学では学生会、社会では町内会等の自治組織がありますが、これは若い人たちが将来、自分たちの手で自分たちが納得できる世の中をつくっていくための土台となるものです。最近では定数通りの立候補者数という、ある意味予定調和的なパターンが多いのですが、今回は対立候補が出たポストもありました。役員に立候補するというのは本当に勇気が必要で、容易ではないものです。それでも敢えて立候補した生徒たちの東中を思う気持ちを、尊く、また頼もしく思いました。「本物の思い」は、どの立場にあっても生徒会を支える「本物の力」であり続けます。これもまた、大切にしたい宝です。

さて。私たち一人ひとりが大切にされるために創り出された世の中のしくみのひとつが民主主義です。生徒会も民主主義の一つ。うまく機能するには、生徒一人ひとりの「意識」「関心」「希望」が前提です。支える側の「質」が生徒会の在り方を決定づけます。まずは生徒会員（生徒一人ひとり）が、東中を育てるという意識を強く自覚すること、そしてリーダーは、生徒会員の声に良く耳を傾け、「さらなる高み」を目指していろいろな挑戦をしていくこと。前期から後期へと代替わりをするのは11月の生徒総会となりますが、引継ぎを前に「全校生徒が誇りを持って校歌を歌える」、そんな生徒会に発展することを期待します。

R7後期～R8前期生徒会役員

生徒会長 小山 昂さん(2A)

同副会長 千葉 愛莉さん(2A)

佐藤 紅杏さん(1A)

執行部員 阿部 輝大さん(2A)

川島 小花さん(2A)

岩渕日奈美さん(1A)

応援団長 槻山 虎琉さん(2A)

生活委員長 青山 結登さん(2A)

学習委員長 井上 柁春さん(2A)

保健委員長 長田 絆さん(2A)

文化委員長 白鳥 結羅さん(2A)

報道委員長 佐々木瑠華さん(2A)

生徒会議長 上野 理智さん(2A)

生徒会議長 山崎いちかさん(2A)



東中生の活動をご覧ください！ 10/26 一関東中学校文化祭

音楽発表会（独唱、合唱）、総合文化部や生徒会の活動紹介展示という恒例の発表に加え、ステージ発表（わたしの主張、英語暗唱・弁論）に「最先端科学体験研修発表」が加わり、つくば市で行われた研修について共有します。またオープニングに日舞、閉会式前に昨年度に引き続き「弥栄太鼓」の披露など盛りだくさんです。東中生の活動の様子をどうぞご覧ください！

毎日の生活の中で東中生が何を大切にどんなことを考えながら活動しているのか…そういった積み重ねを披露する場が「文化祭」です。本年度は教科作品の展示（書写、美術、技術、家庭、総合的な学習）と

進路について考える②

右の写真は、いずれも本年度1年生で行われたキャリア学習の様子です。上の2枚は10月2日(木)の出前授業。岩手県南広域振興局の北上川流域ものづくりネットワークのアレンジにより市内の2企業(一関信用金庫、(株)日本端子)にお越しいただき、地域を支える金融について説明を受け、世界の技術を支えるものづくりが身近に感じられる実習を行いました。下の写真は10月7日(火)に行われた企業見学での写真です。市内(株)三光化成と平泉町の(株)フタバ平泉を訪問し、実際に工場見学・職場体験をしてきました。こういった研修や体験が、次年度2年生での社会体験学習(働く＝自分を生かす・世の中を支える)につながっていきます。



世の中はすごいスピードで変化しています。情報化・グローバル化は既に私たちの日常生活そのものです。そのような中での「生きたキャリア学習」は、生徒の人生の選択において、ひとつのヒントになると考えます。平成時代と比べ、子どもたちが幼いころから様々なメディアに触れて育つ現代。「情報化により様々な情報が手に入り視野が広がる」便利さの一方で、「興味関心がある分野には詳しいものの、それ以外の世界に触れる機会が減り、かえって視野が狭くなる」「バーチャルがリアル」という現実の中での進路指導は、保護者の皆さんが中学生だった頃に比べると、大きく質が変わっています。

★本日3年生に、「令和8年度岩手県立高等学校入学者選抜への志願予定者及び保護者の皆さんへ」から始まる『岩手県立高校の出願にあたって』という県教委からの文書を配布します。11月21日の授業参観日、3年生は生徒・保護者対象に「高校入試事務手続説明会」を開催しますが、その前にお目通し願います。

「メディア利用」について盛り上がった学校保健委員会



9月30日(火)、本年度の学校保健委員会が開催されました。伊藤萌野養護教諭発行の「保健だより」にて内容をご覧になったことと思いますが、本校学校医・学校歯科医、教職員、PTA代表とで本校生徒の健康に関する様々なデータや生活アンケートの結果を共有して課題を洗い出し、今後の指導支援に繋げようというものです。当日はPTA会長と副会長、研修交流部より2名の保護者、学校医の菅野記豊医師、学校歯科医の村上哲医師が出席、初めに本校保健委員会代表6名により生徒の生活アンケート結果について報告があり、その後様々なデータを基に意見交換がなされました。

その中で大きな話題になったのは、「生徒の時間の使い方」です。1日24時間から「学校で過ごす時間」「部活動・地域クラブ活動の時間」「睡眠時間」「食事・風呂・家事手伝い等」を除いた時間を差し引くと残り時間がかかなり限られていること、その残り時間が「家庭での学習時間」「メディアに触れる時間(テレビ・DVD・動画・SNS等)」に費やす合計時間と合わないこと、就寝時刻が遅く十分な睡眠時間が確保できていないのでは? そのため朝食をとるとらないにも影響が出ているのでは? ...といったことなどがわかりました。特に「メディア利用」について、家庭での「学習時間」と「メディア時間」が重なっていることも考えられます。

メディアの子ども達の脳や発達における影響については、世の中様々な所から報告がなされています。また、「家庭学習時間」と「学力検査の正答率」には正の相関関係があるといわれます。子どものメディア利用について規制をする自治体や国も出てきたこともニュース等で報道されているところです。

本校では、市で取り組んでいる「居間9ルール」や滝沢小学校・弥栄小学校と連携したセーブメディア週間、本校独自の「まなびフェスト」の取組を行っています。学校保健委員会では、メディアとの付き合い方について、今一度ご家庭で話題にするのもいいのではという話になりました。



3年生に数学を教わる1年生